

2023国際ロボット展

INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2023

『ロボティクスがもたらす持続可能な社会』

11月29日(水)～12月2日(土)

産業用からサービス用まで最新のロボットが一堂に！
世界最大規模のロボット専門展、過去最大の出展者数で開催

(一社)日本ロボット工業会と日刊工業新聞社は、2023年11月29日(水)～12月2日(土)の4日間、東京ビッグサイトで『ロボティクスがもたらす持続可能な社会』をテーマに、「2023 国際ロボット展 (iREX2023)」を開催します。

本展は、2年に一度開催する世界最大規模のロボット専門展として、今回で25回目を迎えます。出展規模は、654社・団体、3,508小間(前回 615社・団体 3,227小間)となり過去最大での開催となります。

会場は、東京ビッグサイトの東1～8ホールと西3、4ホールを使用し、用途が拡大する産業用ロボットの最新システムや関連機器の展示のほか、普及が進むサービスロボットなども多数展示されます。「ロボットSierゾーン」では、ロボット導入に必要なインテグレーター企業の展示、「ロボットシミュレーション&ビジョンシステムゾーン」では、VR/ARなど含む要素技術の展示が行われます。「物流システム・ロボットゾーン」「部品供給装置ゾーン」では、物流業界で活躍する最新のロボットシステムやパーツフィーダなどの供給システムが展示されます。

また、前回に引き続きオンライン展示会「iREX ONLINE」を、11月22日(水)～12月15日(金)に開催します。オンライン会場のみ出展者やオンライン会場限定の講演・ウェビナーもあり、見どころ満載です。

メインステージでは、初日に「iREX ロボットフォーラム 2023」を開催し、ロボット導入の最新動向や新たな分野での活用の可能性を探ります。その他、多数の講演やフォーラムなども連日実施します。併催企画では、主催者企画として、2050年を見据えたテーマ展示を行うほか、毎回好評を博している体験企画イベント「つくる☆さわれる国際ロボット展」も実施します。

ぜひ貴社媒体にて、「2023 国際ロボット展」をご紹介いただくと幸いです。

【お問い合わせ先】

『国際ロボット展』広報センター
(株)フルハウス内
受付時間: 10:00～17:00(土日祝休み)
TEL: 080-8818-7661
E-mail: irex-press@fullhouse.jp

【プレス登録について】

取材にあたり、「国際ロボット展」公式 Web サイトより、「プレス取材登録」を行ってください。当日は、東5ホール前に設置のプレス受付へお越しください。

【プレス登録は、下記フォームより取材登録を行ってください】
https://biz.nikkan.co.jp/form/eve/irex_autumn/press/



開催概要

- ◆ 名 称: 2023 国際ロボット展
- ◆ [INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2023(iREX2023)]
- ◆ 開催趣旨: 国内外における産業用・サービス用ロボットおよび関連機器を一堂に集めて展示し、利用技術の向上と市場の開拓に貢献し、ロボットの市場創出と産業技術の振興に寄与する。
- ◆ テー マ: ロボティクスがもたらす持続可能な社会
- ◆ 主 催: 一般社団法人 日本ロボット工業会、日刊工業新聞社



- ◆ 後 援: 経済産業省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、総務省、文部科学省、日本商工会議所、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、日本貿易振興機構(JETRO)、日本放送協会(NHK)〈順不同、法人格略〉
- ◆ 協 賛: 計測自動制御学会、情報通信ネットワーク産業協会、製造科学技術センター、精密工学会、全日本プラスチック製品工業連合会、テクノイド協会、日本アミューズメントマシン協会、日本機械工業連合会、日本金属プレス工業協会、日本建設機械工業会、日本建設機械施工協会、日本工作機械工業会、日本産業機械工業会、日本自動車工業会、日本自動車部品工業会、日本食品機械工業会、日本鍛圧機械工業会、日本鉄鋼協会、日本電気計測器工業会、日本電機工業会、日本電気制御機器工業会、日本塗装工業会、日本半導体製造装置協会、日本福祉用具・生活支援用具協会、日本福祉用具供給協会、日本物流システム機器協会、日本フルードパワー工業会、日本ベルト工業会、日本防錆技術協会、日本包装機械工業会、日本溶接協会、日本ロボット学会、マイクロマシンセンター、ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会〈五十音順、法人格略〉

【リアル会場】

- ◆ 会 期: 2023 年11月29 日(水)~12 月 2 日(土)
- ◆ 会 場: 東京ビッグサイト 東 1~8 ホール/西 3・4 ホール
- ◆ 開催時間: 10:00 ~ 17:00
- ◆ 入 場 料: 1,000 円 ※入場登録者、招待状持参者、中学生以下は無料
- ◆ 同時開催展{(西1・2ホール/11月29 日(水)~12 月1日(金)/相互入場を実施):
「洗浄総合展」、「VACUUM 真空展」、「SAMPE Japan 先端材料技術展」、
「高精度・難加工技術展」、「表面改質展」、「KOKOKARA Fair」、「FACTORY'S GOODS」

【オンライン会場】

- ◆ 会 期: 2023 年11月22 日(水)~ 12 月 15 日(金)
- ◆ 会 場: オンライン上
- ◆ 入 場 料: 無料[登録制]

開催規模

※10月10日現在

合計 654社・団体 3,508小間 (前回 2021年 615社・団体 3,227小間)
※前回比 39 社・281小間の増加、過去最大規模での開催

【ゾーン別 小間数】

■産業用ロボットゾーン	2901小間 (前回 2,488 小間)
うち	
■物流システム・ロボットゾーン	131小間 共催:(一社)日本物流システム機器協会
うち	
■部品供給装置ゾーン	35小間 共催:日本部品供給装置工業会
■サービスロボットゾーン	397小間 (前回479小間)
■併催企画ゾーン	210小間 (前回260小間) (つくる☆さわれる国際ロボット展 等)

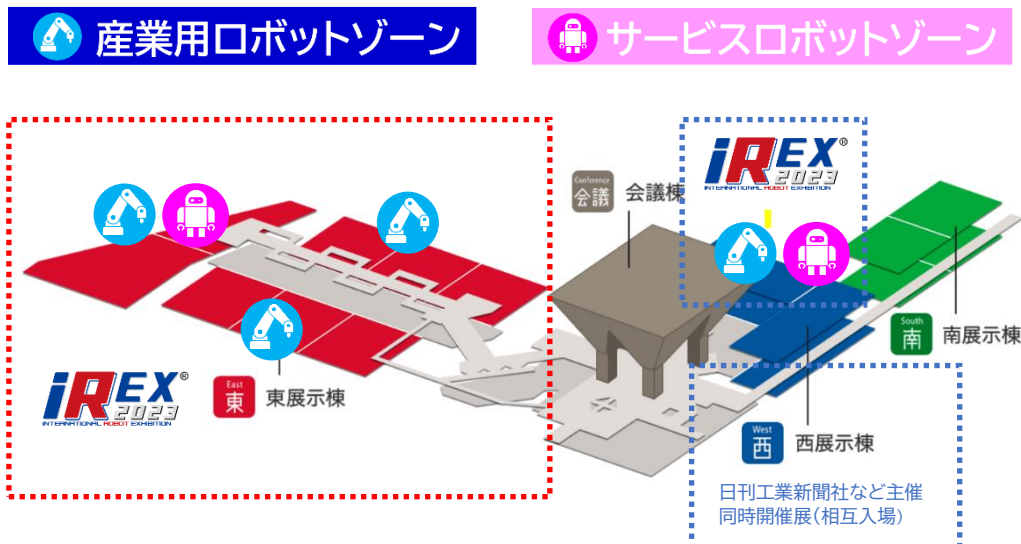
【海外出展者数】

121社 443小間 (前回49社228小間)
※前回比72社・215小間増、過去最大比率での出展

【出展国】18ヶ国

アメリカ合衆国、イスラエル、イタリア、英国、オーストリア、カナダ、韓国、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、台湾、中国、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、フランス、香港

【ゾーニング予定】



本展のみどころ

① 広い用途に対応した産業用ロボットゾーン！

産業用ロボットは、従来の自動車や半導体業界での利用から、物流、食品、医薬分野への導入が拡大し、合わせて AI の活用が高まり、ロボットによる自動化と生産性の向上が加速しています。

会場では、協働ロボットや DX 及びデジタルツインに関わるロボットやソリューションの展示のほか、「物流システム・ロボットゾーン」「部品供給装置ゾーン」では、物流現場で活躍するロボットやパーツフィーダの最新技術を展示します。

また、「SIer ゾーン」や「ロボットシステム・ビジョンゾーン」などではロボットの導入に向けたインテグレーター企業の出展や、要素部品の展示を行います。

② 介護・福祉、農業、インフラ・災害対応、教育まで幅広いサービスロボットゾーン！

サービスロボットゾーンでは、介護・福祉、インフラ・災害対応、教育、食品など社会で活躍する最新のロボットを展示します。コロナ禍で導入が加速したサポートロボットや、需要の高い最新ドローン展示の他、スマート農業で活躍するロボット、清掃ロボット、警備ロボットなどの展示も行います。

その他、「かながわロボットイノベーション」では、神奈川県内企業で実際に活用しているロボット技術を展示します。

③ 海外出展者は過去最大規模！

前回開催時はコロナ禍の影響を受け、海外出展者は減少傾向となりましたが、今回の海外出展者は、コロナ禍前の 2019 年開催時を越えて、過去最大数となり、全出展者の約 2 割を占めます。また海外向け来場誘致 PR も強化し、会場内では Overseas Lounge 設置などを行い、世界各国からの来場者を迎え入れます。

④ ロボット業界の“今”を知るステージや、ユニークなキーワード満載のステージ！

西 4 ホール内メインステージでは、経済産業省や NEDO によるロボット政策と支援プロジェクトの成果報告や、ロボットメーカーとユーザーが一堂に会するフォーラム、海外のロボット工業会の講演のほか、「スマート農業」、「生成 AI」、「大阪・関西万博」、「機動戦士ガンダム」などユニークなキーワードのステージは必見です。

⑤ 併催企画では、豪華コラボレーションや複数のロボット展示を開催！

西 4 ホールでは、2050 年を見据えた、未来のロボット活用について展示を行います。また、例年人気を博している「つくる☆さわれる国際ロボット展」(12 月 2 日のみ開催)では、ロボットプログラミング教室や水中ドローン、ロボットペーパークラフトなど、若年層を中心に幅広い世代にも楽しんでいただける体験企画を用意しています。

iREX ONLINE

■ 『iREX ONLINE』

日 時:11月22日(水)~12月 15日(金) 出展社数:54社(10月10日現在)

前年に引き続きオンライン展示会「iREX ONLINE」を開催します。
リアル会場の会期中はもちろん、会期前後でもオンライン出展者の
展示やウェビナーなど、どこからでも 24 時間アクセス可能です。



また、新機能としてオンラインでもリアル会場のような偶発的な
出会いを演出する新たな検索手法「iREX GO(アイレックス ゴー)」を
実装します。

オンラインのみの出展者・講演もあり、見どころ満載です。

iREX ONLINE ⇒ <https://irex.nikkan.co.jp/>



メインステージ

会 場:西 4 ホール内 メインステージ 定 員:各 500 名(聴講無料)

「ロボット」というキーワードから広がる、バリエーション豊かなステージプログラムを開催します。

■経済産業省のロボット政策(仮) *日英同時通訳あり

登 壇:経済産業省

■iREX ロボットフォーラム2023「ロボティクスがもたらす持続可能な社会」 *日英同時通訳あり

主 催:日本ロボット工業会、日刊工業新聞社

■スマート農業の推進～人口減少下でも持続可能な食料供給体制を確立～(仮)

主 催:農林水産省

■NEDO ロボット・AI フォーラム 2023 *日英同時通訳あり

主 催:新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

■生成 AI の最前線～産業利用や今後について～

主 催:モノづくり日本会議

■国際ロボットフォーラム「産業用ロボット:世界の現状と展望」 *日英同時通訳あり

主 催:国際ロボット連盟(IFR)、日本ロボット工業会

■いのち輝く未来社会実現に向けて～大阪・関西万博が伝えたいこと～

登 壇:2025年日本国際博覧会協会 ほか

■来るべき“現実の宇宙世紀”に向けて—

『機動戦士ガンダム』× サステイナブルな未来・イノベーション創出への挑戦 *日英同時通訳あり

主 催:経済産業省、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、JOIC

☆登壇者などの詳細情報は公式 Web サイトにて随時更新しています。 <https://irex.nikkan.co.jp/>

併催企画

■主催者企画『ロボティクスがもたらす持続可能な社会』

2023 国際ロボット展のテーマを広く発信する、参加・体験型の企画エリアを設置します。

場所:西4ホール

『ロボティクスがもたらす持続可能な社会』

「サステナブル・共存・協働」をコンセプトとした企画エリアです。

ロボットメーカーを中心に、様々なデモ・体験が用意されています。

≪展示協力(50音順):

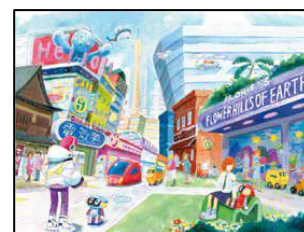
- ・川崎重工業
- ・パナソニック ホールディングス
- ・ファナック
- ・三菱電機
- ・安川電機



出張！未来館！『新ロボット展示を体験！』

日本科学未来館の展示が11月にリニューアルするのに合わせて、ロボットに関する新常設展示が特別に国際ロボット展に出張します。フотスポットや参加型企画など、楽しめるコンテンツを用意しています。

主催:日本科学未来館 協力:トヨタ自動車



iREX2023×デジタルハリウッド大学『PRムービー制作プロジェクト』

国際ロボット展とデジタルハリウッド大学(メディアサイエンス研究所 荻野健一研究室)がコラボレーション。

次世代に向けたPRムービーを制作、放映します。映像に使用される、学生たちの描いた「ロボットと共存する未来」のイラストも展示します。

PRムービー制作
プロジェクト

主催者企画全体を通して、来場者と共に2050年のロボットとのかかわり方、未来を描いていくエリアをご用意しております。

■『つくる☆さわれる国際ロボット展』(体験企画)

ロボット操作体験やプログラミング体験など、若年層を中心にまで、幅広い来場者が楽しめる企画を予定しています。

場所:西4ホール ※土曜日のみ開催

【実施予定プログラム】

- 水中ロボットを動かしてみよう！
- \VEX123 / 4歳からのコーディング体験
- オリジナルの「TonTon ゴリラ」で紙ずもう！
- マイクロマウス体験講座



■ロボットアイデア甲子園全国大会

高校生・高専生を対象としたロボット活用アイデアコンテストのプレゼンテーションと表彰式を実施します。

場所:東8ホール内セミナー会場 ※土曜日開催

主催:日本ロボットシステムインテグレータ協会(SIer 協会)

SIer
FA & Robot System
Integrator

☆企画の最新情報は公式 Web サイトにて随時更新しています。

<https://irex.nikkan.co.jp/>

広報・PR

■国際ロボット展サポーター 春香クリスティーン さん

国際ロボット展は、新たなテクノロジーや未来の可能性と出会うことができるイノベーション創出の場でもあります。

より幅広い世代、海外も含めた多くの方にロボット産業の広がりを知っていただくため、この度、「国際ロボット展サポーター」として春香クリスティーンさんに就任いただきました。
今後、様々な動画や展示会場で、本展のPRを行います。

【春香クリスティーン プロフィール】

1992年、スイス生まれ。父は日本人、母はドイツ系スイス人。
2008年に単身来日し、タレント活動を開始。バラエティ番組や情報番組のほか、国会ウォッチャーとして報道番組や選挙番組などにも出演。
2018年にタレント活動を休業し、同年結婚し1児の母に。
2022年に芸能活動を再開した。



■2023 国際ロボット展 スペシャル対談映像

国際ロボット展サポーターに就任した春香クリスティーンさんと、本展を代表して国際ロボット展運営委員長、日本ロボット工業会会長、それぞれの対談映像を作成します。
映像は、10月10日(本日)、公式YouTubeにて公開します。

2023 国際ロボット展運営委員長 橋本 康彦氏
(川崎重工業株式会社 社長執行役員、最高経営責任者)
対談映像:<https://youtu.be/qilFXwmwOLO>

日本ロボット工業会 会長 山口 賢治氏
(ファナック株式会社 代表取締役社長 兼 CEO)
対談映像:<https://youtu.be/yEiX1gu-vqY>



■iREX2023×デジタルハリウッド大学『PRムービー制作プロジェクト』

国際ロボット展には産業界のみならず、アカデミアからも注目が集まります。今回、国際ロボット展とデジタルハリウッド大学(メディアサイエンス研究所 荻野健一研究室)がコラボレーションし、産学連携の取り組みとして、「2050年:ロボットと共存する未来」をテーマに、学生の自由な発想でイメージイラストを募集します。
イラストを使用した動画は、公式WEBサイトで11月に公開し、各種広告媒体にも使用します。
イラストは、西4ホールの主催者企画エリア内で展示を行います。
参加大学:デジタルハリウッド大学、京都芸術大学 など予定

2023国際ロボット展
INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2023



PRムービー制作
プロジェクト

☆その他、弊社紙面特集、弊社雑誌特集、各種交通広告・WEB広告などで来場誘致を行います。

以上